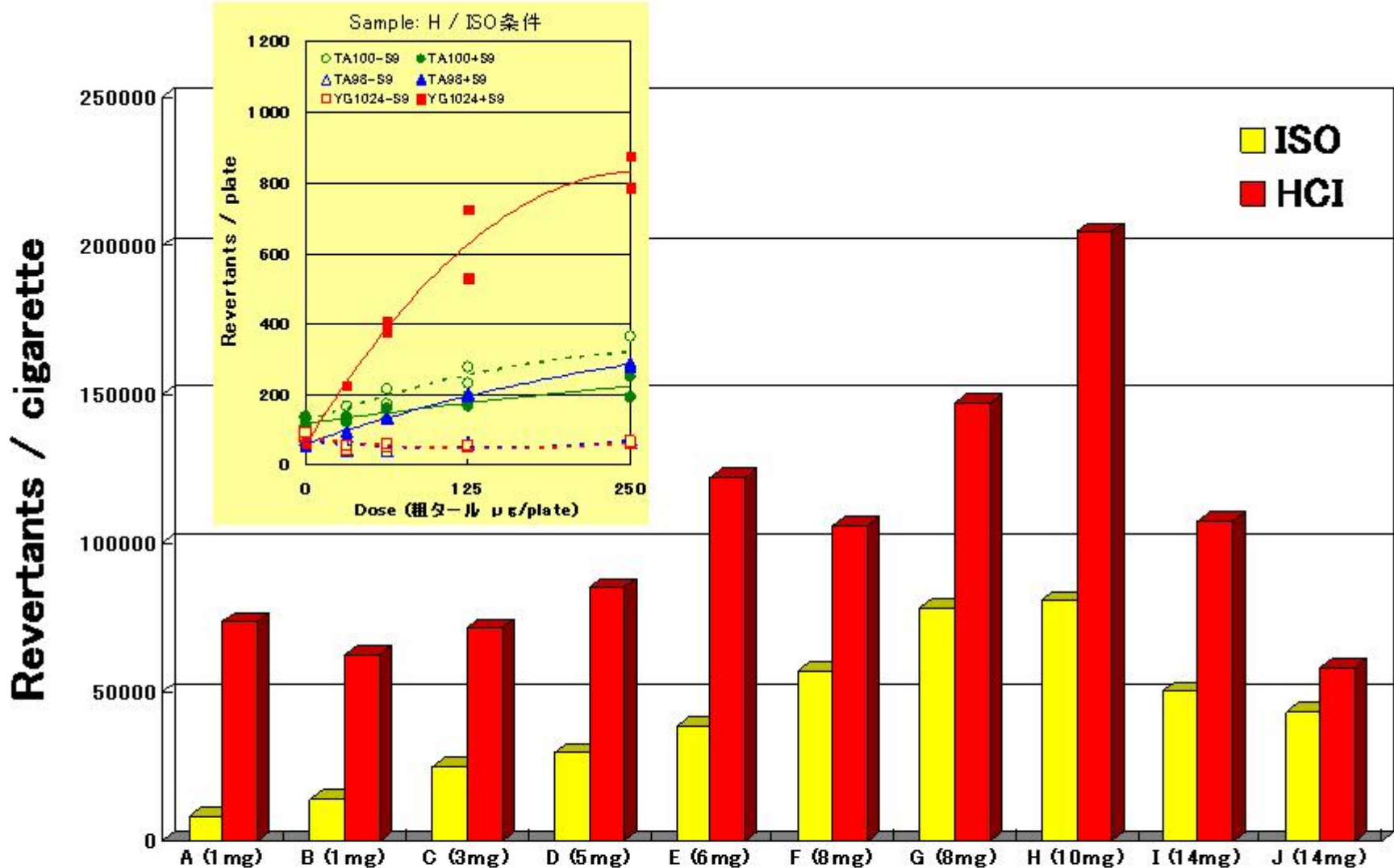


人工喫煙装置の歴史と問題点

- 1881: Bonsack: Cigarette-Machine patent (No. 238640)
- 1936: Bradford standardized machine-smoking
- 1976: 米国FTCにより正式採用
- 1991: ISO ≒ FTC
- 90年代中頃: ISO/FTC は喫煙実態を反映していない?
- 1999: 新しい基準の提案:
 - カナダ保健省 ~ 最大摂取量
 - 米国マサチューセッツ州 ~ 平均的喫煙
- 近年: “ライト・タイプ” 代償性喫煙の問題
 - 通気孔閉塞
 - 喫煙本数・吸煙量の増大





国産たばこ10銘柄の変異原性 (YG1024+S9)



低タールたばこが低リスクとは限らない！

たばこ規制枠組条約に基づく有害化学物質等の新しい国際標準化試験法に関する研究
(厚生労働科学研究費H18~20年度 麻布大学・国立保健医療科学院)

WHOたばこ規制枠組条約

WHO
TFI

WHO
TobReg

WHO
TobLabNet

その他

EU
各国

カナダ

米国
CDC

日本
NIPH

ラウンドロビン研究

TNCO (Tar, Nicotine, CO)

TNSA (たばこ特異的ニトロソアミン)

VOC, PAH, Metals

など

新しい国際標準化試験法

FTC / ISO法
Canadian Intense法
Massachusetts法
など

その他国際共同研究

アジア太平洋たばこ研究(日米カナダ)など

バイオマーカー → リスク評価

環境たばこ煙 → 受動喫煙対策

科学的根拠に基づく
保健医療政策
(対がん戦略など)

副流煙の測定法は2007年から

